

## 外国語

小学校 第6学年

OS・ソフト等

- iPad
- ロイロノート
- Google Earth

<単元・題材名等>

### Unit 3 Let's go to Italy.

#### ねらい

旅行代理店の店員として、自分がおすすめする国について、相手に「行きたい」と思ってもらうために、相手の共感を得るように話したり、国の魅力やそこでできることを付け加えたりしながら、分かりやすく話すことができる。

#### 主なICTの活用法

- ・ 協働学習支援ツール（ロイロノート）のカード機能を用いて、おすすめの国を紹介する。また、相手の興味・関心に合わせて、カードを切り替えながら話す。
- ・ Google Earthを用いて国の位置を提示する。
- ・ アンケート機能を用いて本時の振り返りを行う。
- ・ 個別支援の手立てとして、ロイロノート内に音声付きのカードを準備し、発音の確認ができるようにする。

#### ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 相手の興味・関心に合わせてカードを選択したり、写真を提示したりしながら、相手に「行きたい」と思ってもらえるように、魅力やできることを整理して話すことができる。

#### 実践の概要

本単元では、世界に目を向け「おすすめの国」を仲間に紹介する活動を行う。ただ紹介するだけでなく、旅行代理店の店員として、お客さんが「行きたい」と納得できるように工夫して説明するといった目的・場面・状況を設定し、活動に必然性をもたせる。また、相手に質問をしたり、相手の興味に合わせた魅力を紹介したりすることで、相手意識を大切に、思考しながら説明できるようにする。

また、単元を通してICT端末でスピーチの録画や録音をすることで、客観的に自分のスピーチを見直し、相手により伝わるような工夫をする。

#### 児童の学びの様子

- 国を紹介する魅力的な写真をICT端末上に多数用意してスピーチをすることで、伝え合う楽しさを実感しながら言語活動に取り組む姿があった。
- 写真を提示しながら、相手の理解に合わせて、話す内容を整理してスピーチをすることができた。
- 自分が紹介している国を相手が知らない場合には、Google Earthを利用して、その国の位置を示すことができた。
- いろいろな写真を準備しておくことで、「Do you like ~?」と、相手の好みを確かめながら、相手に応じて発話を工夫することができた。
- 本時の言語活動を通して、どの国に行きたくなったかをアンケート機能を用いて確かめることで、充実感や次時への意欲をもつことができた。



#### 指導のポイント

- コミュニケーションの目的・場面・状況等を明確にし、相手意識を大切に言語活動を設定する。
- 中間の指導において、設定した目的・場面・状況に立ち返ることで、内容と表現をより豊かにする。
- 本時の学びを確かめるとともに、コミュニケーションのよさや楽しさを実感できる振り返りを行う。